

我が国周辺水産資源調査・評価等推進事業のうち漁場形成・漁況予測事業

定置網漁獲統計調査

久野 正博・岡田 誠・笹木 大地

目 的

定置網に関する詳細な漁海況情報を蓄積することにより、資源管理を行っていくための基礎資料とする。

方 法

三重県内の大型定置網漁場のうち、波切・片田・和具・阿曾・贅浦・方座・錦・長島・島勝・九鬼1号・九鬼2号・早田・梶賀・阿田和1号・阿田和2号の15漁場を対象に平成29(2017)定置年度(平成29(2017)年10月～平成30(2018)年9月)の魚種別漁獲量を調査した。

結 果

詳細については平成29定置年度三重県ブリ定置漁獲統計で報告したので、以下は結果の概略を示す。

平成29(2017)定置年度の総漁獲量は5,852トンで前年度の74.5%、過去10年平均の95.3%であった。魚種別ではブリ(6kg以上の銘柄)が2,343トンで全魚種の40.0%を占めた。次いでワラサ(2～6kgの銘柄)935トン、サバが737トン、マアジ376トン、カタクチイワシ266トンの漁獲があり、上位5種で全体の約8割を占めた。

漁獲量10トン以上の魚種の中で前年度と比較して漁獲が増加したのは、スルメイカ(前年度比1.9倍)、マルソウダ(同1.8倍)、ムツ(同1.8倍)、サワラ(同1.7倍)、カンパチ(同1.3倍)、イシダイ(同1.1倍)、マダイ(同1.1倍)等であった。

逆に減少した魚種は、マルアジ(前年度比12%)、シイラ(同27%)、ヒラソウダ(同30%)、イナダ(0.5～2kgの銘柄)(同39%)、ヒラマサ(同40%)、アオリイカ(同41%)、ウルメイワシ(同45%)、ワラサ(2～6kgの銘柄)(同49%)、カワハギ(同50%)、マアジ(同62%)、カマス類(同62%)、イサキ(同65%)、ヒラメ(同67%)、メジナ(同77%)等であった。

ブリ(6kg以上)の全漁獲尾数は、338,464尾(前年度比1.01倍)で、近年で最高の平成26(2014)定置年度には及ばなかったものの、平成28(2016)定置年度をわずかに上回り、過去50年で2番目に多い漁獲尾数であった。ブリのまとまった入網は3月下旬から4月下旬に集中してみられ、4月だけで全体の71%、3月～4月では全体の93%が漁獲された。4月上旬から中旬が漁獲のピークで、全漁場合計の1日の最高漁獲尾数は、4月19日の

表1. 全漁場魚種別漁獲量

平成29(2017)年10月～平成30(2018)年9月			
順位	魚種名	漁獲量(kg)	相対度数(%)
1	ブリ	2,342,574	40.033
2	ワラサ	934,509	15.970
3	サバ	737,186	12.598
4	マアジ	375,506	6.417
5	カタクチイワシ	266,318	4.551
6	スルメイカ	82,446	1.409
7	マイワシ	80,159	1.370
8	イナダ	77,303	1.321
9	イサキ	74,231	1.269
10	イワシ類	71,583	1.223
11	マルソウダ	59,488	1.017
12	ムツ	56,032	0.958
13	マダイ	52,182	0.892
14	カマス	48,634	0.831
15	サワラ	46,755	0.799
16	その他アジ類	45,710	0.781
17	イシダイ	42,705	0.730
18	カンパチ	40,960	0.700
19	ヒラソウダ	27,276	0.466
20	シイラ	26,400	0.451
21	ウルメイワシ	24,292	0.415
22	フグ類	22,964	0.392
23	メジナ	21,501	0.367
24	トビウオ	19,538	0.334
25	アオリイカ	14,542	0.249
26	ヒラマサ	14,243	0.243
27	マルアジ	13,229	0.226
28	その他イカ類	11,700	0.200
29	ヒラメ	10,924	0.187
30	タチウオ	7,141	0.122
31	スズキ	6,911	0.118
32	カワハギ	5,781	0.099
33	ウスバハギ	4,711	0.081
34	ウマヅラハギ	4,538	0.078
35	ボラ	4,182	0.071
36	ハガツオ	3,829	0.065
37	マグロ類	1,802	0.031
38	ヤリイカ	1,172	0.020
39	カジキ類	861	0.015
40	シマアジ	561	0.010
41	ヨコフ	50	0.001
42	その他雑魚	169,203	2.892
	合 計	5,851,629	100.000

34,759尾、次いで4月13日の23,576尾、4月2日の23,367尾、4月16日の21,191尾、4月11日の19,716尾、4月4日の17,673尾、4月1日の15,660尾であった。他に4月12日、4月8日、4月20日にも1日に1万尾以上の漁獲があった。

ワラサ(2~6kg未満)の全漁獲尾数は、178,202尾(前年度比47.5%)で、過去50年で4番目の漁獲尾数であった。ワラサの入網は4月下旬~5月上旬に集中し、4月だけで全体の59%、4月~5月では全体の93%が漁獲された。全漁場合計の1日の最高漁獲尾数は、4月26日の21,171尾であった。次いで4月23日の15,958尾、4

月22日の15,700尾、4月27日の13,690尾、4月20日の10,130尾であった。

イナダ(0.5~2kg)の全漁獲尾数は、89,396尾(前年度比44.2%)、当歳魚が主体となる8月~9月を入れない集計期間では63,966尾(前年度比63.6%)であった。好漁であった前年度から一転し、過去10年平均を下回る低調な漁模様であった。

関連報文

三重県(2019)：平成29定置年度 三重県ブリ定置漁獲統計。